

## 1. 事業の目的と上位計画の位置づけ

### 1) 事業の目的

入曽駅東口地区については市街地開発事業を実施するため、長きにわたり関係地権者との合意形成に努めてきましたが、一部地権者の理解が得られないことから、平成25年5月に土地区画整理事業による市街地開発事業の実施を断念しました。

しかし、当地区は交通対策などの解決すべき地域課題が山積していることから、入曽駅東口地区の整備を市の重要課題としての位置づけを継続し、その方針を堅持することとしております。

地区内には事業に活用する予定であった入間小学校跡地があり、現在更地の状態にあります。また、入間小学校跡地を有効に活用するために、隣接敷地の一部を取得しております。

本事業は入間小学校跡地及び取得した土地等の有効利用を図りながら、入曽駅周辺における交通対策などの地域課題を解決していくため、土地利用計画や道路及び駅前広場の設計等の調査・検討を行い、新たな計画案を作成して入曽駅周辺の整備を進めるものです。



写真：現在の入間小学校跡地

### 2) 入曽駅周辺に関する上位計画の位置づけ

#### ① 第4次狭山市総合計画（平成28年3月策定）

【基本構想】（計画期間：平成28～令和7年度）

＜拠点地区の形成＞

入曽駅周辺地区について、地域の経済活動などの特性を踏まえた地域拠点としての市街地形成を進める。

＜都市的土地利用＞

入曽駅周辺について、商業・業務地の拡充などを図る。



図：土地利用構想図（拡大）

#### ② 狭山市都市計画マスタープラン（平成12年3月策定）

【入曽駅周辺】

- ・ 商業機能等の整備・充実
- ・ 安全・快適な歩行者空間整備や良好な景観形成
- ・ 駅へのアクセス道路・駐車場整備・誘導等

【入曽駅】

- ・ 駅前広場整備や駅舎の橋上化
- ・ 両側の市街地を結ぶ自由通路整備の検討



図：まちづくり方針図（拡大）

#### ③ 狭山市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成28年3月策定）

民間活力を利用した  
入間小学校跡地の利活用

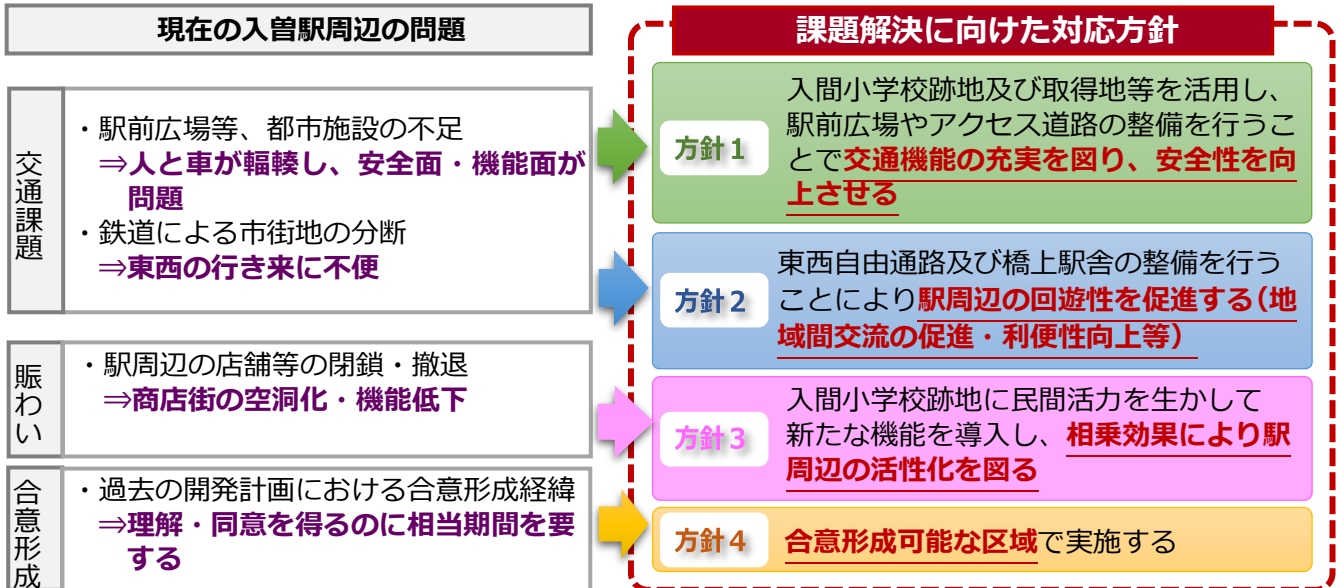
入間小学校跡地の利活用について、民間活力を活用した公募型プロポーザルによる利活用提案の募集事業を実施し、入曽駅前の活性化に資する新たな拠点整備を図ります。

※上記以外に県の計画においても、入曽駅周辺は地域拠点を形成する地区として位置付けられております。

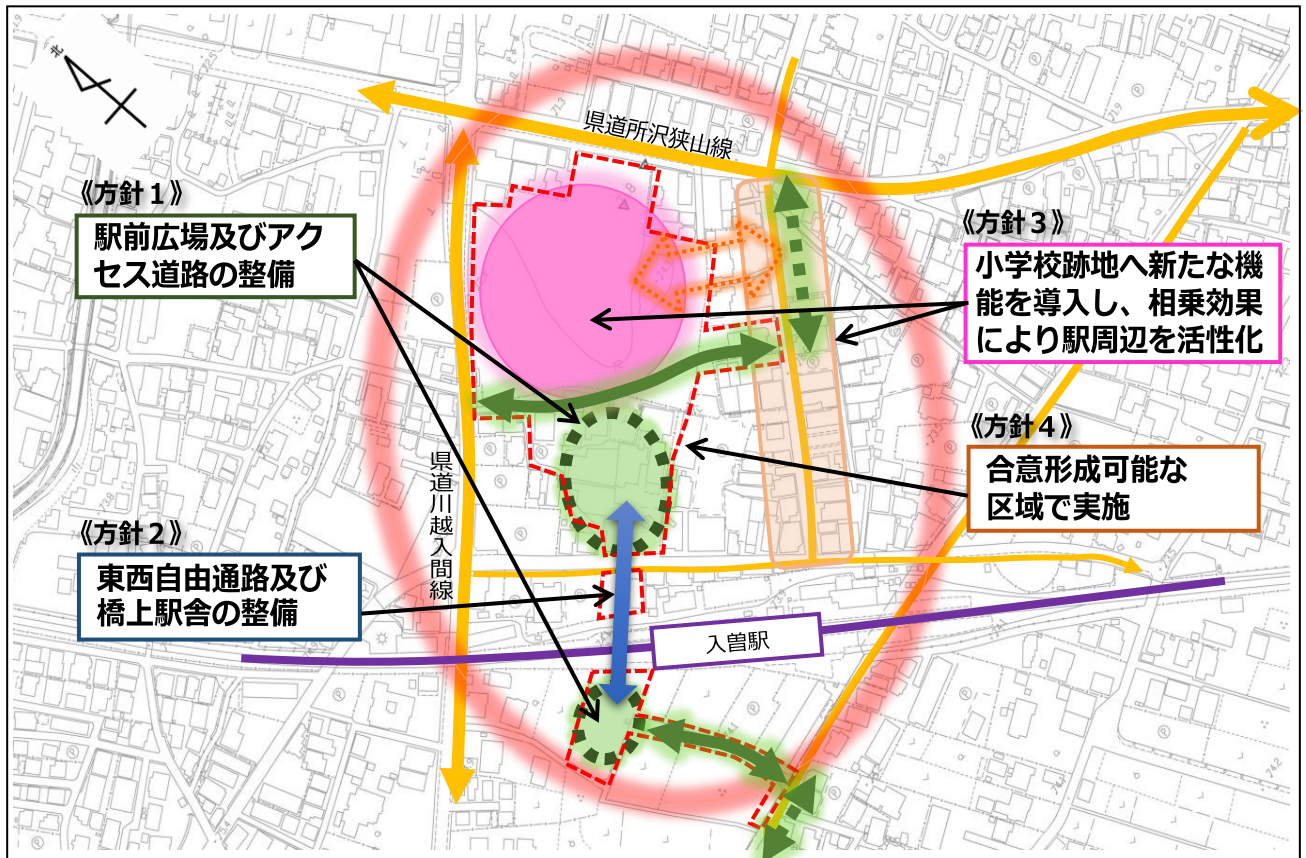
## 2. 入曽駅周辺地区の現況と課題及び改善の方向性

入曽駅周辺地区では駅周辺の活性化に資する新たな拠点整備を目指していますが、現在の駅周辺では既に土地利用が形成されており、駅前広場等の新たな公共用地の確保が期待できないことから拠点整備が難しくなっています。

そのため地域課題の早期解決を図るべく、入間小学校跡地をはじめとした市有地を有効活用し、下図のとおり検討を進めていきます。

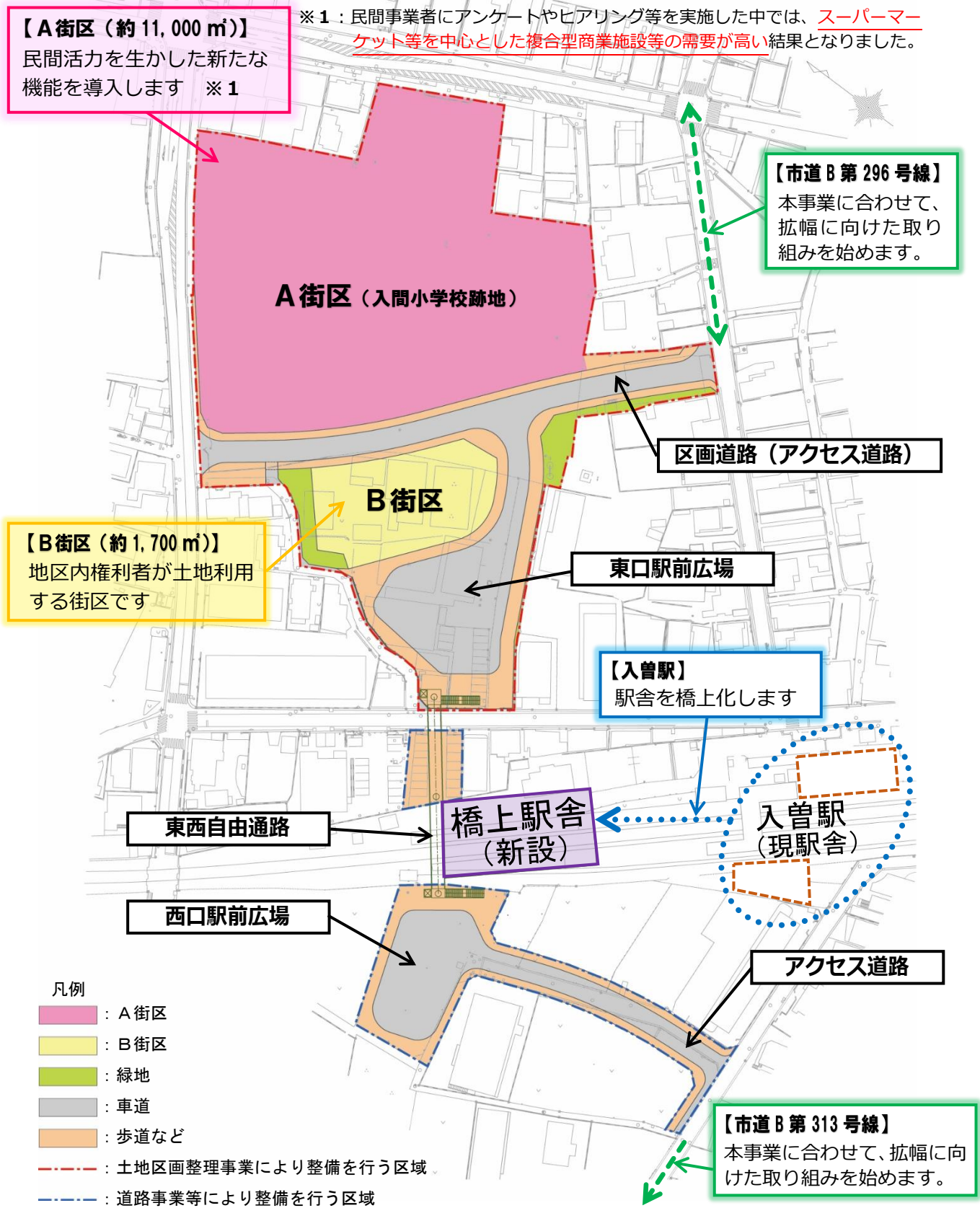


～入曽駅周辺 整備方針図～





### 3. 土地利用計画図



事業予定区域内の基盤整備は土地区画整理事業や道路事業等により実施いたします。なお、実施する施行区域や駅前広場等の公共施設計画については、現在関係機関と調整中のため、今後の協議により一部変更となる可能性があります。

#### 4. イメージ図

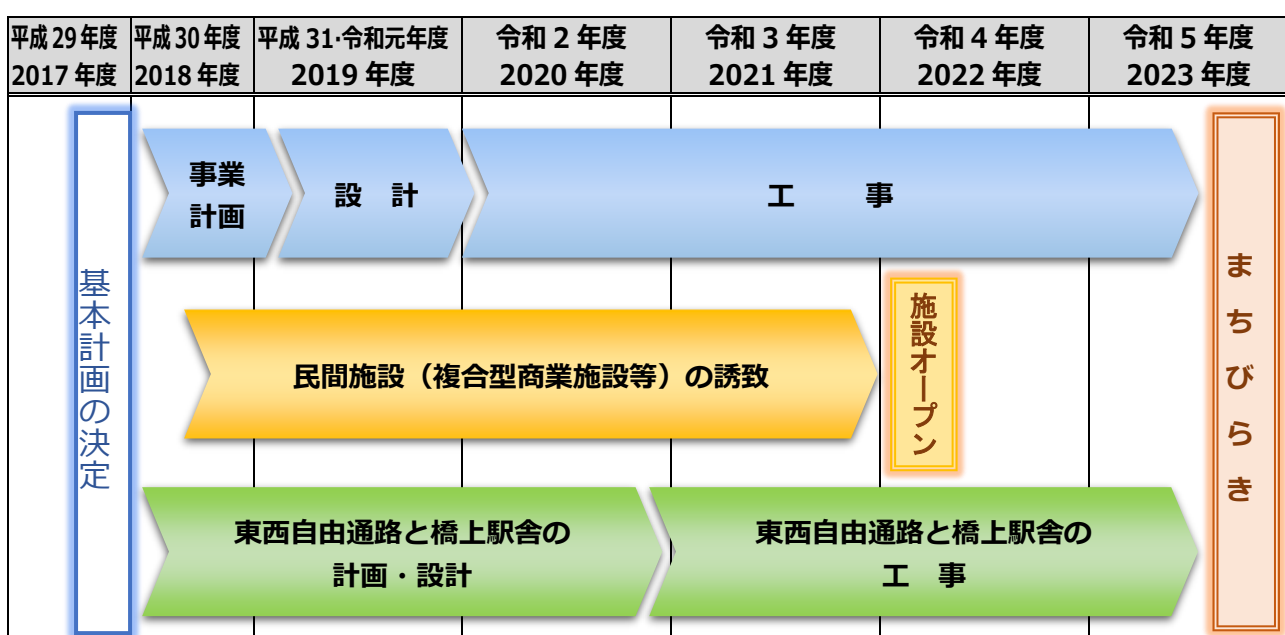
このイメージ図は、入曽駅周辺整備の1つのイメージとして記したものです。



整備事業を実施する施行区域や駅前広場等の公共施設計画については、現在、関係機関と調整中のため、今後の協議により一部変更となる可能性があります。

#### 5. 整備スケジュール（2019年3月現在の予定）

入曽駅周辺整備事業の現在の整備スケジュール（予定）は以下のとおりです。今後の関係機関との調整等により変動する可能性があります。



※このスケジュールは、想定であり関係者と合意したものではありません。